



新成人へのお祝いの言葉

公民館長 銭谷 譲一

平成三十一年のこの佳き日に、晴れて成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

また、今日まで愛情深く育てて来られたご両親、ご家族の皆様方には心よりお慶び申し上げます。

さて、新成人の皆さんが生まれた平成十年、十一年はすでにバブル崩壊後の情報時代に突入していました。

Windows 98やカメラ付携帯が発売され情報機器の充実と共に個人の生き方や価値観も益々多様化してきた頃でした。それから二十年経ち、最近では様々なジャンルの会社の広告で「人生百年時代に百番百番」「楽しい百歳」「人生百年時代到来、長生きに備えよう」など人生百年という言葉が多く使われるようになっていきます。人生を百年のスパンで考える時代になったのです。

戦後の日本が一つのレールとして二十年学び四十年働きその後、老後を過ごすという年齢によって区切る形では収まりきらないということです。

例えば先頃、八十一才でゲームアプリを開発した若宮正子さんが多くのメディアで「世界最高齢のプログラマー」と紹介されました。また、コメディアンの萩本欽一さんは、七十三才の時に駒澤大学に入学されました。一方で、歌手の安室奈美恵さんは四十才で引退し、巨人の高橋由伸さんは四十三才で監督を辞任しました。このよう

に学びも仕事も自分のタイミングで選べる未来に向かっていくのです。人は何からでも再出発できるのです。そして、その可能性は誰にでもあるのです。

京セラ第二電電の創業者である稲森和夫氏は勤めていた会社が倒産寸前となり、社員八人で会社を設立した事業家ですが著書に可能性について次のように書いています。

「現在の能力をもって、できないできないかを判断してしまつては新しいことや困難なことなどできるはずはありません。人間の能力は努力し続けることによって無限に広がるのです。常に自分自身のもの、無限の可能性を信じ勇気をもって挑戦するという姿勢が大切です。」

どうぞ皆さん、この言葉のように努力を惜しまず、かけがえのない一度の人生、大きく羽ばたいて下さい。そして、この先の人生における数々の出会いはもちろんのことですが、皆さんがこれまでお世話になった先生方、

諸先輩への感謝と、仲間との絆も忘れず大切にしてください。皆さんの人生がより豊かなものになるよう心からエールを贈ります。





謝辞

成人者代表 小川 瑠月

本日は私たち新成人の為に、このように盛大な式典を催して頂きましたことを、心よりお礼申し上げます。また、多数の皆様から身に余る、お祝いの言葉をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎え、これまで温かく支えてくれた家族をはじめ、共に高めあってきた友人、色々とご指導していただいた恩師や地域の方々、心より感謝いたします。

私達は大野町に生まれ、幼い頃から日本海の波の音、潮や醤油の香りの中で育ち、悪魔払いや獅子舞などの伝統文化を体験しながら大きくな



りました。大野町は生まれ育ち安心できる場所であり、子どもの頃から友人や可愛がつってくれた多くの先輩がいる故郷です。

昨年は金沢も何十年ぶりの寒波と大雪になりましたが、その後も西日本豪雨や大阪・北海道での地震など、本場に多くの災害に見舞われた年でした。災害が起こった時に、安否を確認しあえる住民同士の繋がりがあり、困った時に助け合える絆がある大野町であって欲しいと、大人の仲間入りをした今、改めて感じています。

未だ未だ未熟な私達ですが、いつか社会に貢献出来る大人になる為に、努力してまいります。どうか、今後とも末永くご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

南砺市井波町は「木彫刻美術館・井波」として、五月に日本遺産に認定されたばかりの木彫刻の町です。最初に訪れた井波別院瑞泉寺は井波彫刻発祥の地、江戸時代中期の火災で焼失した瑞泉寺再建のため、京都本願寺の御用彫刻師が技を伝えたのが始まりで、境内の建物のいたる所に美しく迫力ある彫刻が施されています。そして町並みが整備された参道には、町家や工房が軒を連ね、ガラス越しに熱心に作業する若い職人達の姿がみられました。また城端別院善徳寺の門前町とし



井波別院瑞泉寺で記念撮影

像を見ながら、我が町の祭りを思い出し、歴史ある祭りの雰囲気を感じていました。地域の伝統や文化が受け継がれていくことで、世代を超えた人とのつながり、出会いがあり、それを大切にしてきた人の心も伝わってゆくので



井波彫刻を見学

て栄えた城端の町には、ユネスコの無形文化遺産にも登録されている、江戸時代から続く伝統行事「曳山祭」があります。曳山館では、祭りの資料、井波彫刻や城端塗の豪華絢爛な曳山や屋台が展示され、曳山祭の映



井波の街並みを散策中

だとあらためて感じた研修旅行になりました。また楽しみにしていた宿泊先の大牧温泉は、「船でしか行くことのできない秘境の温泉宿」と言われ、小牧港から船に乗り約三十分、庄川峡谷にあります。まるで川に浮かんでいるような宿は、全室リバービュー、窓から見る景色は普段味わえないものでした。富山の美味しい食事を頂き、温泉に癒され、露天風呂では楽しいハプニングもあり笑いのたえないひと時を過ごすことができました。お世話して下さった方々、安全運転のドライバーの方々に感謝しつつ岐路に着きました。



大牧温泉



庄川から見た大牧温泉

校下体育祭(十月七日)

体育部副部長 直江 保生

です。子供が小学校を卒業すると、域行事とも縁遠くなりがちですが、地域の方々と児童が触れ合い、同時に町内の横の繋がりがも確認できる大切な行事になっています。

来年からは元号が変わるため、平成最後となる校下体育祭が十月七日に開催されました。

当初は九月三十日の開催予定でしたが台風のため延期となり、当日も二日前までは台風直撃との予報でしたが、児童・町民の願いが通じたのか秋晴れの清々しい一日となりました。

前日まで天候不順が続いたため、例年では前日から進めていた事前準備も出来ず、当日朝からの準備開始となりました。準備不足による不都合も心配されましたが、関係各部門のご協力により例年通りの素晴らしい体育祭を開催することが出来ました。

小学校競技、町会競技ともに大変な盛り上がりとなり、大きな事故もなく無事に全競技を終えることが出来ました。

大野町では小学校と町会が合同で運動会を開催していますが、ご存知の通り稀なケース



- 優勝 四丁目
- 準優勝 二・三丁目
- 三位 五・六・七丁目・けやき
- 四位 一丁目
- リレー優勝 一丁目
- リレー準優勝 四丁目

第二十九代大野町壮年会会長となつて

大野町壮年会会長 川島 英昭

はじめに町民のみなさまには、日頃から様々な活動で、大変お世話になりありがとうございます。

大野町壮年会は昭和二十七年に大野町公民館設立と時を同じくして発足、今年で六十七年目を迎えます。そんな歴史のある、そして大野町の中心団体の会長を任命し、その責任と重圧を感じながらもこのような機会に巡り合えたこと大変光栄に思っております。

壮年会では大野町獅子舞保存会運営も行っております。七月の日吉神社例大祭では、記録的猛暑日となりましたが、熱中症を出すことなく町廻りを行うことができました。多くの町民の方と接し、励ましの言葉をたくさんいただきました。この歴史と文化が地域コミュニティの形成につながっていると改めて感じました。今年は例大祭以外にも、小矢部市獅子舞共演会、全国弓道大会開会式、金沢市加賀獅子共演会と様々なイベントで獅子舞を披露してきました。これからも大野町獅子舞を様々なイベントで披露していきたいと思っております。大野町の行事としては、公民館主催の盆踊りや文化祭、こまちなみなーにも模擬店として参加させていただきました。手際が



これから大野町の中心を担う団体として、楽しくこの大野町を盛り上げていこうと思っております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

悪く長蛇の列になつてしまうこともありましたが、町民の皆様が楽しく行事に参加していただけるよう盛り上げていくのが自分たちの役割と思つて活動しております。
「楽しくなければ壮年会じゃない！」会員の間で言われ続けている言葉です。

活動アラカルト

第二十五回公民館ゴルフ大会 (五月二十日)

石川ゴルフ倶楽部にて
優勝 川端 克一
二位 蒲生 隆夫
三位 本嶋 悟



各種団体ソフトボール大会 (六月三日)

優勝 大野町青年会
準優勝 大野むらさき会



西部ブロック第二回 室内ペタンク大会(六月十七日) 城西市民体育館にて



第一回コミュニティ活性化事業 地元学(六月十七日)



第二回コミュニティ活性化事業 どぼん釣り大会(八月二十六日)



弁吉碑清掃(九月十六日)



市民ソフトボール大会 (九月二十三日)

優勝 薬師谷
準優勝 扇台



文化祭(11月4日)



金沢マラソン2018 (十月二十八日)





第二回三世代ペタンク大会
(十一月四日)

- 優勝 尾山親子・上坂チーム
- 二位 村田親子・長谷チーム
- 三位 川井親子・川崎チーム



花いっぱい運動(十一月二十四日)



第三回コミュニティ活性化事業
味噌作り(十二月九日)



門松作り(十二月二十三日)



スポーツサンデー
ペタンク講習会(一月二十日)



西部ブロックフレッシュテニス大会
(二月十日)

- 城西体育館にて
- Aブロック優勝 安原民館
- Bブロック優勝 戸板公民館
- Cブロック優勝 西公民館



町民ボウリング大会
(三月二日)

- 男子優勝 中干場大輔
- 女子優勝 銭谷 麻美
- 小学生優勝 高嶋 斗真



金沢市公民館大会
(二月十七日)

- 金沢市長感謝状受賞
- 大野町公民館副館長 尾山真智子
- 永年勤続表彰(二十年)受賞
- 大野町公民館館長 銭谷 讓一

